

学芸会を終えて—全学年—

11月16日（金）、17日（土）に全学年が劇を発表しました。

日一日と練習に熱が入り、学芸会を迎えました。1・2年生が大きな声を出して一生懸命演じる姿。3・4年生が自分の役を楽しみながら生き生きと演じる姿。5・6年生が役の心を理解してチームの一員として演じる姿。

どの学年も一人一人が輝き、みんなが力を合わせて一つの劇をつくり上げていました。また、6年生がリーダーとして係活動を頑張り、素晴らしい学芸会になりました。

多くの保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。日頃とはまた一味違うお子様の姿に成長を感じ、感動されたのではないのでしょうか。この経験を大切にして学校生活に生かしてまいりたいと思います。

今後ともよろしく願います。

（学芸会委員会 田村 直美）



心をひとつに！

10月から朝運動では、クラスごとに長縄で8の字跳びなどに挑戦しています。学級の記録を伸ばすことを目指して取り組んでいます。子供たちは練習しながら、リズムよく跳ぶためのポイントを見つけ、教え合っていました。同じ目標に向かって頑張る気持ちが高まってきたように感じます。運動委員会の5・6年生は低学年の学級の縄を回してあげながら、励ましの声をかけていました。1月にもう一度、自分のクラスの記録に挑戦します。「心をひとつに」頑張ってください。（体育部）



マラソン大会に向けて

12月1日（土）に開催されるマラソン大会に向けて、11月の体育は、授業の冒頭に2～4分間走を行いました。また、11月20日（火）から中休みをマラソンタイムとして、練習に取り組んできました。マラソンタイムでは1・2・3年生は2分間、4・5・6年生は4分間のタイム走を行い、同じペースで最後まで走り切ることをめあてに頑張ってきました。

高学年が低学年を応援している様子も見られ、微笑ましく思いました。

（体育部）



ひき算に挑戦しています！（算数の授業より） —第1学年—

1年生は、10月に「繰り上がりのあるたし算」を学習し、現在は「繰り下がりのあるひき算」を学習しています。子供たちは、「繰り上がりのあるたし算」で学習したことを生かし、今回も、計算の仕方をブロック操作で行ったり、図などをノートにかいたりしながら取り組んでいます。また、自分の考えを友達に伝えることも頑張っています。友達と話し合う中でたし算の時に使った「10といくつで考える」の方法がひき算にも使えることに気付いたり、「10からひくと分かりやすい」と一生懸命に課題に取り組んだりしています。

今後も一人一人の意欲を大切にしながら、学ぶことの楽しさや喜びを感じていけるようにしていきたいと思います。日々頑張っている子供たちをぜひ、ほめてあげてください。

（1年担任 望月 まりこ 雨海 智裕）



書写（毛筆）～文字を整えて～—第3学年—

小学校国語科書写では、毛筆は硬筆の基礎を養うものとされ、3年生から学習が始まります。毛筆の学習のねらいは、文字を大きく書くことで硬筆の学習では気付きにくい部分に気付き、その書き方を確かめることです。これは文字を整えて書くために大事なことを子供に学ばせることにつながります。

1学期の始めは、用具の扱いが難しく、墨を手や眼に付けてしまったり、筆を上手に整えられなかったりすることがありましたが、少しずつ慣れてきました。子供たちは、初めての毛筆での書き初めを楽しみにしています。

（3年担任 緒方 理子 大野 航）



専門性を生かして ～社会科・理科～ —第5学年—

5年生は担任の専門性を生かして社会科と理科の交換授業を行っています。

社会科では、日本の食糧生産や工業の学習に取り組んでいます。写真やグラフ、表から考えられることをノートにまとめ、伝え合っています。子供たちは資料から教員が考えている以上のことに気が付き、驚かされることがあります。学習内容が難しくなっていますが、子供たちの意欲に応えられるよう指導していきます。

理科では、2学期に入ってから顕微鏡を使って植物の花粉を調べたり、雲画像等の気象情報から天気を予想したりしました。子供たちは実験や観察を通して自分たちが考えた予想を確かめています。学習を通して学んだことを日常生活に生かすとともに、学習前とは違った視点で物事を捉えられるようにしていけるよう指導しています。今後も子供たちの考えを尊重しながら授業を進めていくようにしていきます。

（5年担任 吉村 徹志 田邊 あゆみ）

